

このコーナーでは、市工業会・市商工会工業部会会員から応募のあった企業を紹介しています。

加工作業を習得し、F1やアメリカのインディカ



小金井精機製作所

図と実際の製品とが1000分の1mm単位でもずれることを許さない「公差0」という加工技術を習得し、F1やアメリカのインディカ

ゼロへの追及  
1987〜1994年頃にF1ブームがあったことを覚えていますか。アイルトン・セナ、ナイジェル・マンセルなどの人物が登場し、多くの人がレースにくぎ付けになりました。その舞台裏には、技術に情熱をかける小金井精機製作所などの製作者の姿がありました。

レースカーでは車体が軽量素材で作られる中、エンジンも例外でなく、頑丈さと同時に軽さを求められます。小金井精機製作所は、シャフト、シリンドリーブロックなどのエンジンを軽量化、低燃費化するのに重要な部分の製造を得意としています。さらに、設計



### 第3回 (株)小金井精機製作所

設立 昭和18年12月

住所 狭山ヶ原360の1

<http://www.koganeiseiki.co.jp/index.html>

☎2935・2288

1・レース、バイク最高峰のモトGPなど世界のレースで、そのレースカーなどに搭載されているエンジンの多くを製造するようになりました。

### オートバイへの愛が生んだ転機

前会長の鴨下源太郎氏はオートバイがとて好んで、友人の乗っていた日本製のオートバイのエンジンを調べていました。すると、その日本製のエンジンが、4サイクルかつ高回転であること、そのため欧州製よりもスピードが出ることに気が付きました。時は1950年代、オートバイエンジンは欧州製が中心で、レースにおいても日本製のエンジンが活躍することはほぼなかった時代でした。

この発見を父であり創業者である鴨下良壽氏に伝えたことがきっかけで、エンジン製造に本格参入しました。

### 世界のKOGANEIへ

小金井精機製作所の製品は、顧客のオーダーに合わせたカスタマイズ仕様なので、同じ作業の繰り返しはありません。長年培われたノウハウを会社全体で共有することで、多品種生産の質を保っています。現在は、航空宇宙機器、自動車・オートバイ、半導体等の加工分野でも第一線で活躍し、中小企業庁が選ぶ「元気なモノ作り中小企業300社」に認定されました。

世界を舞台に活躍する企業として、常に世界最高精度の品質を追求しています。